

こんなことに困っていませんか？

ディスレクシア Dyslexia

- 読み間違いが多い
- 文字の読みがたどたどしく時間がかかる
- 書き間違いが多い、練習しても書けない
- 文字を書くのに時間がかかる
- 板書を書き写すのが間に合わない
- 文字を読む・書くのが嫌い、疲れる など

アセスメントアプリで
簡易チェックできます。▶



ディスレクシアとは、学習障害(LD)の中核で、読み書きがすすらと正確にできない症状です。全般的に知的発達に遅れはありません。十分な教育の機会があり、視覚・聴覚器官の異常がないにも関わらず症状が現れた場合に称します。大脳の仕組みによって起こると考えられています。

読み書きが困難なことで自信を失い、学習の遅れや意欲低下、心身の不調につながる人もいます。自分に合う学びやすい方法や ICT 機器を用いることで本来の力が発揮しやすくなります。

ディスレクシアをより深く知ってください。ディスレクシアがあるからこそ身につけることができる力もあります。氷山の下にあるまだ見えぬ力に目を向けてみませんか？

ご寄付・ご支援のお願い <https://npo-edge.jp/support.us>



エッジはみなさまのご寄付で活動しています。
活動の公益性が認められた「認定NPO」でご寄付は寄付金控除の対象となります。
非営利組織の信頼性を示す「グッドガバナンス認証」も受けております。
ご支援をよろしくお願いいたします。

- マンスリー（毎月）500円から
- 賛助会員（毎年）1口3000円～ 何口でも
- 都度 1回3000円～ おいくらでも
- ふるさと納税（東京都港区）
7割がエッジへのご支援になります。
東京都在住の方も可。

認定 NPO 法人エッジ <https://www.npo-edge.jp>

〒108-0014 東京都港区芝 4-7-1 西山ビル4階
お問い合わせ edgewebinfo@npo-edge.jp



グッドガバナンス認証



メルマガ登録



認定NPO法人

EDGE

Extraordinary Dyslexic Gifted Eclectic

エッジはディスレクシア（読み書き困難）の全ての人が、いきいきと暮らせる社会をめざしています。ディスレクシアの「正しい知識の普及」と「支援」に関する情報を提供しています。

活動の成果

2001年10月発足以来、ディスレクシアを知っていただく **啓発**、本人・保護者のエンパワメントを含む **支援**、その支援ができる人材育成、そしてその関わる方の **ネットワーク** を活動の柱としてきました。発達障害にかかわる団体とネットワークを組み、議員連盟を作り、各種 **法律** を整備し政策・施策を提案してまいりました。

パッと見この文字を読めますか？



ミカタ
を変える

啓発

ディスレクシアは目に見えない困難さです。どのような困難さなのか、困難さの背景・支援・合理的配慮、ディスレクシアだからの能力。より深く知ってください。



講師派遣

セミナー講師派遣 ディスレクシア月間 情報発信

PRTIMES, Facebook, X, YouTube, ニュースレター, メールマガジン, ブログ

『代表 藤堂 栄子が立法に携わった法律』

発達障害者支援法、発達障害者支援法改定
障害者差別解消法
教科書バリアフリー法
読書バリアフリー法 など

EDGE
のミカタになる

支援者養成講座

e …… eラーニング

子どもたちの味方となる人材（発達障害全般への支援、ディスレクシアの指導と支援を学び実践できる人材）の確保が重要です。



LSA 学習支援員養成講座

2005年に行政との協働で始まった講座

小・中・高等学校の通常学級における発達障害の児童生徒をサポートする人材を養成
発達障害の基礎知識と具体的支援がわかる

ベーシック (入門編) e 発達障害や特別支援、子どもへの関わり方等を知る

スタンダード (基礎編) 子どもの理解、支援の基本、学校現場における支援等を学ぶ

アドバンス (実践編) 支援員の心構えや法律を学び、実践（事例検討）を行う
資格取得を目指す

コミュニティ (スキルアップ) アドバンスコース修了生のためのコミュニティ、フォローアップ
講座、各種勉強会、事例検討による、知識の定着・スキルアップ
を持続的に行う 意見交換や修了生同士がつながり交流する

読み書き困難指導・支援講座

e ~子どもの味方の「教え方」~

ディスレクシアや読み書きに困り感を抱えている子どもへの指導・支援の方法を学ぶ



J-AWARE 読み書きアセッサー 養成講座

e

河野俊寛先生による

読み書き困難のメカニズム、読み書きアセスメントと意見書作成までを学ぶ講座



EDGE
を活かす

相談・検査・学習

ディスレクシアの人たちは自分のことを理解して、仲間と出会い、周りの理解を得て、一般的な指導や学習方法とは異なる自分に合った方法や環境で、本来持っている能力を発揮していくことができます。そのために当事者と保護者のエンパワメントは欠かせません。

個別相談

どんな学習方法がいい？学校にどう伝える？職場でどう生かす？自分のことを知りたい！等。読み書きが困難だった場合の指導方法、支援の方法、合理的配慮、学習スキル、留学、検査についてなどLD全般の相談。



個別アセスメント

読み書きのスピード・流暢性と正確性を客観的に測り、年齢平均と比べてどの部分がどの程度困難かを知ることができる。意見書には具体的な学習方法と学校での支援や合理的な配慮も記載。英語語彙検査もあり。

集団アセスメント

早期に多くの児童生徒の読み書きの困難さを見つけることができる。
教育委員会・自治体・学校・塾など教育機関単位で対応。
実施例：港区 通信制高校



音声教材 (BEAM)



文部科学省

無償

文部科学省委託事業「音声教材の効率的な制作方法等に関する調査研究」
読むことに困難があり、支援を必要とする児童生徒のための教科書。
目的は内容を理解する事。あえて音だけ。

ミカタ
でつながる

ネットワーク

1人では成し遂げられないことも仲間とつながり、集合知で世の中を動かすことができます。当事者同士のネットワーク、イベント、居場所づくりを通して、ディスレクシアの人たちが生きやすい環境を育てます。

NODE

能動的に情報発信する青年の会

キッズアンドティーンズ

K&Tクラブ

イベントや体験教室

DX会

のんびり集う成人の会

メタ・エッジ

オンラインのこどもの居場所